

令和7年度使用中学校教科用図書選定に関する報告

第十三地区教科用図書採択協議会

令和7年度に使用する中学校教科用図書を、公正かつ適正に選定するため、調査研究報告や学校意見等を検討しながら、選定作業を完了しました。

選定の経過、選定結果及び選定の理由、選定に係る委員は下記のとおりです。

1 選定の経過

部会名等	期 日	場 所	内 容
第1回 採択協議会	4月17日(月)	京築教育事務所	○採択日程(案)の審議・承認 ○予算(案)の審議・承認 ○部会員等選出方法(案)の審議・承認
第2回 採択協議会	7月3日(水)	行橋市中央公民館	○選定方針(案)の審議・承認 ○採択組織(案)の審議・承認
委員等委嘱 選定委員会	7月3日(水)	行橋市中央公民館	○選定委員会委員委嘱 ○選定説明会
第1回 選定部会			○調査研究結果の説明 ○調査研究結果の検討、選定の内容や方向の決定等
第2回 選定部会	7月10日(水)	行橋市中央公民館他	○調査研究資料等の検討 ○学校意見の検討 ○答申案づくり
第3回 選定部会	7月17日(水)	行橋市中央公民館	○答申案づくり
総括部会	7月23日(火)	行橋市役所	○選定結果の報告 ○答申内容の調整
第3回 採択協議会	7月29日(月)	行橋市役所	○答申受理 ○選定部会より報告
採択協議会 役員会議		行橋市役所	○答申内容の審議、1種選定

2 選定結果及び選定理由

教科 教科書	発行者		書 名
	番号	略称	
国 語	3 8	光 村	国語
国 語 (書写)	3 8	光 村	中学書写 一・二・三年
社 会 (地理的分野)	4 6	帝 国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社 会 (歴史的分野)	1 1 6	日 文	中学社会 歴史的分野
社 会 (公民的分野)	1 7	教 出	中学社会 公民 とともに生きる
社 会 (地図)	4 6	帝 国	中学校社会科 地図
数 学	6 1	啓林館	未来へひろがる数学
理 科	4	大日本	理科の世界
音 楽 (一般)	2 7	教 芸	中学生の音楽
音 楽 (器楽)	2 7	教 芸	中学生の器楽
美 術	9	開隆堂	美術
保健体育	2 2 4	学 研	新・中学保健体育
技術・家庭 (技術分野)	2	東 書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭 (家庭分野)	2	東 書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
英 語	2	東 書	NEW HORIZON English Course
道 徳	1 1 6	日 文	中学道徳 あすを生きる

選定理由（16種）

国語

- 語彙を学ぶ「言の葉ポケット」や「語彙ブック」が充実している。我が国の言語文化を尊重する態度を養うことに役立つ郷土作家や作品が紹介されている。
- 学びの「地図」として、学習の全体像・手順は「ヨコ書き」、ポイントはタテ書きにして機能分化を図り、「個別最適な学び」を促している。
- 各領域の言語活動を通じて、知識と技能を活用し、思考力・判断力・表現力等を高める系統性を重視した螺旋的な構成となっている。

書写

- 言語活動を通して、日常生活に生きて働く書写の知識・技能を習得できるように、国語との関連教材や古典文学、短歌・俳句を書いて味わう教材が各学年に設けられている。
- 「行書を活用しよう」や「防災フェスタを開こう」など、国語や他教科、日常生活に役立てる方法をイメージできるように工夫されている。
- 毛筆教材では、朱墨や写真、擬音語・擬態語を用いて、筆脈や穂先の動きを把握しやすいように工夫されている。また、硬筆教材では取り外せる「書写ブック」など毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定し、硬毛の密接な関連を図り、毛筆での学習が硬筆に生きる構成となっている。

社会（地理的分野）

- 我が国の国土及び世界の諸地域に「技能をみがく」コーナーを設け、地理的技能を身につけられるようになっている。
- 地域の課題を考える「アクティブ地理」を新設し、対話を通して自分の意見をまとめたり、他者と意見交換したりして考えを深められるようにしている。
- 「未来に向けて」では、地域の課題を分析し、よりよい未来を構想することで課題を自分事として捉え、主体的に社会に参画する態度の育成を図っている。

社会（歴史的分野）

- 学習課題に対する「見方・考え方」を併記することで、歴史を学ぶ上で必要となる思考力を養うことができるよう工夫されている。
- 単元ごとのまとめページで、時代の流れや特色を年表、地図、表、記述など様々な形で振り返ることで、学習内容の定着を図るよう工夫されている。
- QRコードからデジタルコンテンツを見ることができ、動画視聴をして学習内容の理解を深めたり、小テストで学習内容を確認したりするなど、生徒のペースに合わせて多様な学び方ができるようになっている。

社会（公民的分野）

- 1単位時間ごとに「確認」と「表現」のコーナーが設けられている。「確認」では基本的な事項の整理をし、「表現」では学習内容の説明や話し合いなどの表現活動の課題を設定している。

- 13のテーマからなる「持続可能な社会に向けて」という特設ページを設けている。今日的課題をテーマにした資料を読み深め、協働しながら多面的・多角的に考察し、議論する力を高める内容になっている。
- 地球規模の課題と向き合い、SDGsの視点をもって解決方法を探ることができるよう工夫されている。

地図

- 地図帳で培うべき地理的な見方・考え方を育成する問い「地図で発見」が資料図や一般図の随所に設けられており、生徒が主体的に取り組み、地図を読み取る力を身につけられるように工夫している。
- 日本の諸地域の自然環境、人口、資源、エネルギーと産業の地域間の結びつきの地域的特色を、鳥瞰図や統計、資料などを用いて地方ごとに大観したり、比較を通して変化や因果関係を考察したりできる内容になっている。
- 資料などは最新のものであり、適切に出所、出典が明示されている。

数学

- 数学的活動については、学習指導要領に示されている9つの数学的活動例の題材がほぼ全てに設定されている。また、題材の半分以上が各章の「利用」のページで取り上げられているため、指導者は数学的活動を意識して取り組むことができる。
- 「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」で、根拠を明らかにし、筋道立てて説明する場面を設定している。数学的な見方・考え方を身につけさせるために、どんな考え方を使っているか、本文に下線を引き、右側に具体的な「標識」を配置している。さらに、「問題発見」「問題解決」を色で区別しており、繰り返し目にすることで自然と身につくようにしている。
- 電卓を使う場面を設定し、効率よく学習できるようになっている。また、本文中にQRコンテンツを配置し、効果的に学習が進められるようになっている。

理科

- 「探究の進め方」では、見方・考え方の例を示し、探究活動の指針となるようにしており、各単元では領域ごとの特徴的な見方を意識した課題設定をしている。また、探究の過程を通じた学習活動の中で、「比較する」「関係づける」「条件を制御する」「多面的に考える」などの方法を用いて考えられるようにしている。
- 生命や地球に関する事象において、学んだことを活用し、自ら課題を見つけ探究する場面を設定することで、規則性や多様性を見出すことができるようにしている。
- 「理科の世界WEBプラス」が新設され、ICT機器を活用して、QRコードを読み取り、授業でも家庭でも実験映像の確認や復習ができるようになっている。

音楽（一般）

- 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることができる内容になっている。

- 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっている。
- 表現及び鑑賞に各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置づけることができる内容になっている。

音楽（器楽）

- 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる内容になっている。
- 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることができる内容になっている。
- 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっている。

美術

- 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる内容になっている。
- 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっている。
- 【共通事項】の指導にあたっては、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成する観点から、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え、実感を伴いながら理解することができる内容になっている。

保健体育

- 1時間の主な流れを「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」とし、挿絵や説明文がわかりやすく整理されている。また、課題解決に向けて、確実に知識を定着できるよう工夫されている。
- 学習した内容をより深めることができるように「探求しようよ！」のページがあり、文化としてのスポーツなど挿絵や写真を示し、わかりやすく工夫されている。
- 応急手当の技能を習得しやすい工夫として、止血法や心配蘇生法などの動画があることや、外部リンクによる情報収集が可能であることなど、デジタルコンテンツが活用できるようになっている。

技術・家庭（技術分野）

- 多彩な「問題解決例」を紹介している。統一された問題解決の流れが示されている。
- プログラミングについては、ビジュアルプログラミングやフローチャート、アクティビティー図が示されている。

- 巻末には、「未来をつくる統合的な問題解決をしよう」を設け、四編の内容を統合した問題解決の例を取り上げ、それぞれの技術を結びつけて考えることができるように配慮されている。

技術・家庭（家庭分野）

- 脚注に豆知識である「せいかつメモ」を設け、興味・関心に応じて扱うことができるように工夫されている。
- 他教科との関連が随所に示されているほか、他教科リンクマークでは紙面を実際に見ることができ、教科横断的なカリキュラム・マネジメントの一助となる。
- 全体を通して記入例やワークシート例、話し合いの場面などが充実しており、主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫されている。QR コンテンツが充実し、全ての生徒が学びやすいように配慮されている。

英語

- 1年の前半の単元を小学校の学習内容の接続期間として、多くの紙面を割り、小学校の言語材料や単語について余裕をもって振り返ることができるようにしている。音と文字の関係を扱うことで、小学校の音を中心とした学び方から中学校での読み書きにスムーズにつながることができる。また、小学校で学んだ表現に、4技能の活動を通して何度も触れることで定着を図る工夫がなされている。
- 言語の機能や言語の使用場面が各 Unit の最初に Preview として取り上げられ、新出言語材料を Unit 内でスムーズに学習することができる。
- 各パートの既習事項や Activity で表現したことを生かし、目的・場面・状況を踏まえた発信活動を積み重ねることで、単元のゴールの活動である Unit Activity につなげていく構成になっており、段階を追って自主的な言語活動が行えるようになっている。

道徳

- いじめに関わる内容やよりよい社会を創る内容については、多面的・多角的に考えられる内容項目の教材を集めユニット化し、一定期間で集中して学べるように工夫している。また、ユニット「いじめについて向き合う」では、いじめの認知件数が多い1年生では年3か所、2、3年生では年2か所にユニット配置する等、力を入れている。
- 発問例が2つに精選されて示されており、ねらいに迫るための発問（考えてみよう）と学んだことを前向きに自分に生かすための発問（自分に+1）で構成されている。
- 作者からの生き方についてのメッセージや教材に関わる資料も多数取り入れられており、生徒が生き方を考える上でのヒントになっている。

3 選定に係る委員

(1) 第十三地区採択協議会役員

会長	山田英俊
副会長	川本英紀
監事	井上三津子

(2) 選定委員会総括部会

会長	岡井正義
副会長	山之内千恵
部会員	藤井武文
部会員	藤井直美
部会員	中野智子
部会員	門田博和
部会員	河野泰紀
部会員	森本典行
部会員	青山真也
部会員	藤村和紀
部会員	右田忠成
部会員	入江義幸
部会員	板越浩一
部会員	角谷英範